

2023 年度 学校運営改善委員会 議事録

司会進行：教頭 村澤昭憲

日時	2024 年 2 月 22 日 12 時 00 分～13 時 30 分
場所	ヒューマンキャンパスのぞみ高等学校 茂原本校 図書室
出席者	矢部博 様（茂原市教育委員会教育長代理；学校教育課長）、渡部智之 様（茂原市経済環境部商工観光課長）、浦野猛 様（緑ヶ丘自治会会長）、野口雅一 様（緑ヶ丘スポーツクラブ事務局長）、早川勝敏 様（リソルの森営業部長）、岡部弘安 様（ながら夢工房会長）、渡邊健二 様（長生郡市校長会副会長）、末松佐和子 様（茂原市二宮小学校教頭） 土川大輔理事、松井豊事業部長、重栖聡司校長、村澤昭憲教頭、狩野久志教頭、吉岡秀主幹教諭、米澤南華教務主任、渡部豊本校スクーリング担当、兼浜響姫事務主任
欠席者	西ヶ谷正士 様（千葉県議会議員）、沖野晶子 様（学校薬剤師）
議題 議事録	<p>1 開会ならびに日程説明</p> <p>開会にあたり、村澤教頭から本日の日程等の説明を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席者の紹介から質疑応答まで約 1 時間を見込んでいること ・昼食をとって、13 時 30 分までには散会予定であること。 <p>2 出席者紹介</p> <p>村澤教頭より、出席委員ならびに佐藤学園およびヒューマンキャンパスのぞみ高等学校茂原本校職員の紹介を行った。</p> <p>3 学校長挨拶並びに全体報告（重栖校長より）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会にあたっての校長挨拶に続き、スライド資料に沿ってのぞみ高校の 2023 年度 1 年間の歩みを報告した。 <p><挨拶></p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国的に中学生が激減する中で昨年度開校し、今年が 2 年目になろうとしている。 <p>各都道府県においても千葉県は私立学校が 7 番目に多い県であり、その中で新しい私立学校を運営していくというのは風当たりもきつく大変であったが、何とか 2 年目を終えようとしている。地域のご支援に感謝したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来年度は、1 年次 2 年次 3 年次と全学年次がそろうので、その運営について、地域の皆さま、学校関係及び市行政の皆さまからご意見をいただいで参考にさせていただきたい。 <p><報告></p>

① ヒューマンキャンパスのぞみ高等学校の生徒数の推移を説明。

・のぞみ高校の生徒の推移について、開校の5月1日現在、男子が329名、女子が611名で合計が940名でスタート。

昨年度末には1179名、今年2月1日現在は2003名の生徒が全国で学んでいる。男子と女子の比率が顕著で、女子が圧倒的に多いが、この傾向は2年前頃から全国的にそうってきている。通信制高校はスタートして70年になるが、その間は男子のほうが圧倒的に多かったが、今は全国的にものぞみ高校をみても女子のほうが多い傾向にある。

・女子が多くなった背景としては、中学校を卒業してすぐに通信制高校に入学することがあげられる。過去は一旦高校にいった、そこを中途退学して通信制に行くような傾向があったが、今はスタートから通信制高校を選ぶという状況が女子が圧倒的に多いという傾向を生み出している。ひとつの特徴といえる。

・のぞみ高校は全国広域の通信制高等学校であり、2003名は茂原本校以外の全国16都道府県、24の校舎において高校教育を受けている。

初年度から2年目へと生徒数が増えているが、来年度については、すでに600名を超える入学試験の合格者を出しているのも、まだ増える見込みである。

②茂原本校の取組みを中心にこの1年間のあゆみを説明。

・4月8日の入学式から始まる。

のぞみ高等学校は生徒募集を千葉県では行わないという約束で開校しているが、今年度、新1年次生として17名が加わって、現在27名の生徒が茂原本校に在籍、学修をしている。

・5月は校舎内で火災が発生したと想定して避難訓練を行うことができた。消火器を持った消火訓練も行うことができた。

・1年目はできなかったが、みんなで準備をして、みんなで練習をして、その成果を体育祭として取り組むことができた。生徒の中には中学時代ほとんど学校へ行けなかった生徒が、丸一日この体育祭に参加して笑顔をみせていた。

私たちの教育の醍醐味であり、のぞみ高校の求めるところではないかと感じている。

・6月～12月の間、全国の24校舎から高校2年生が11回にわたって、それぞれ4日間茂原本校にきてスクーリングに参加する。今年度は約800名の生徒が茂原本校での学習に参加した。

リソルの森を宿泊施設してご提供いただいているが、全国から集まってくるため、必ずしも普段一緒に勉強している者ではない、はじめて会う人もいたり、ひとつの校舎からたったひとりで参加するなど、人間関係が苦手な生徒が多い中、非常に意義あるものである。11回となると相当な労力をかけて行うことになるが、参加した生徒の満足度アンケートを見ると、良い結果になっており今後も頑張らなくてはいけないと感じている。

・世界的なドローン操縦の第一人者である、双葉電子工業株式会社のドローンパイロットの音田哲男様にご協力いただき、茂原本校の学校紹介映像を撮影いただくことができた。ドローンレースでは日本選手権で18連覇、ワールドカップでも5位の実績をもっている方で、素晴らしい映像を作っていただいた。

※校歌にあわせて映像を再生

・本校スクーリングを運営しながら、茂原本校の生徒たちにもそれなりの教育をしていきたいというのが、私たちの願いであるので、行事等を提供する中にも情操面についても頑張らせていきたいと思っている。薬物乱用防止教室や茂原七夕まつりの取り組みなども行った

・8月には、コロナ渦で中止となっていた、緑ヶ丘自治会主催の緑ヶ丘ふれあい夏祭りに、のぞみ高等学校茂原本校として参加した。ヒューマンキャンパスのぞみ高等学校の姉妹校であるヒューマンキャンパス高等学校がある沖縄県の郷土料理を提供しようということになり、さんびん茶、サーターアングギーやオリオンビールを提供させていただいた。

はじめの30分で売り切れてしまいがっかりさせてしまった。今年も浦野会長様がよろしければ、頑張らせていただきたいと考えている。

・茂原市は水害への対応が非常に大事になるため、9月にはハザードマップを教材として、防災について考えることもできた。

・非常に良い設備が整っている家庭科調理室があるので、茂原本校の生徒にも家庭科の調理実習を行い、ナポリタンとオニオンスープを作った。

・体育祭と同様に今年は文化祭も開催することができた。
生徒たちにとっては、準備に取り組んだところから振り返り、記憶に残った1日であった。

・オリエンタルランドはゲストとキャストの関係、お客様の迎え方、おもてなしの心得を社の方針としている。茂原本校スクーリングでは4日間のうち、2日目に生徒たちがその点を学習して、実際に3日目はディズニーランドにいて、学修したことを感じてもらうという取り組みをしている。

ただ茂原本校の生徒は本校スクーリングに参加していないため、茂原本校の生徒にもディズニーランドを楽しんでもらおうということで単独で実施した。

・本日は、ながら夢工房の岡部会長にも参加いただいているが、本校スクーリングの祭り寿司体験では、毎回毎回ご指導いただいております、感謝している。

それにプラスして、味噌づくり体験を本校の生徒たちに提供していただいた。今の子どもたちは「とうぞう」について食べたことも聞いたこともないので、味噌づくり体験はとても良い体験だと思っている。茂原の生徒も積極的に楽しんでいた。

・1月になると、本格的に入試相談、入学相談そして入学試験が始まる。

千葉県では生徒の募集を行わないという指導があるが、それでもこの茂原本校に多くの生徒、保護者や中学校関係の方々が相談にいらっしやる。通信制高校を選択する生徒の中には、過去に人間関係に悩んだことのある生徒も大変多い。

相談にきて、気持ちに暖かさを感じなければ、この学校に通いたいとは思わない。これをひとつの方針として、全教職員が暖かく迎えて、丁寧に対応しようしている。

管内の中学校の校長先生方から教職員の対応に心温まるものがあるという評価を1年目からいただいている。今後もそういったことを忘れずに茂原本校、ヒューマンキャンパスのぞみ高等学校を運営していきたい。

4 茂原本校スクーリングの取り組み（渡部教諭より）

資料【2023年度（令和5年度）茂原本校スクーリング報告】に沿って説明した。

・今年度は6月～12月にかけて全部で11回本校スクーリングを実施した。生徒アンケートの結果について、11回分の平均値の数字を資料に掲載している。

③ 祭り寿司調理体験では、ながら夢工房の岡部様をはじめ夢工房の皆さまに調理室にきていただき、生徒に郷土料理を自分が作るところから食べるところまで体験できるようご指導いただいている。

④と⑤ オリエンタルランドに行く校外学習とオリエンタルランド社が提供しているホスピタリティなどの精神を事前に学ぶ「事前学習；ディズニーアカデミー」に対する満足度になっている。

⑥ 千葉県らしさについてである。この4日間の授業や食事の部分でできる限りプログラムを組んでいることに対する満足度である。

⑦ 朝食と夕食はリソルの森のMTC施設でビュッフェ形式で食事をとっており、お昼は地元千葉県のお弁当屋さんと提携して学校で昼食をとり、ディズニーランドの日は園内で昼食をとることになっている。

⑧ 生徒や引率で来ていただく先生や養護教諭もリソルの森に3泊させていただいている。ひとつのコテージでは4名もしくは8名が集団宿泊体験をおこなっている。

・今年度、約800名の生徒が参加した中で、合計の評価としては、94.7%となっており、このような高い数字を残せたのは、地域の方々、ご協力いただいている皆さま方のご尽力があったからこそであると、感謝申し上げます。

・中学校でコロナ渦の影響で、集団宿泊や修学旅行が体験できていない世代ということもあり、不安が大きかったり、逆に楽しみもある生徒もいるが、来てみると意外と楽しかった、こんなにも楽しいと思えたのは初めてだなど、担当としても準備するやりがいを感じる事ができた。

- ・茂原市ヤリソルの森、ながら夢工房様など地域との連携についても紹介した。
- ・今年度の実施状況および実施内容を説明した。
- ・次年度は生徒数の増加にもとまらない、今年度より1回多い全12回を予定している。その中で参加人数も約900名で予定している。実施内容については、今年度から概ね変更予定はなし。最終日は千葉県のお土産を買う機会を設けるため、海ほたるパーキングエリアの体験でしめくくりとなる。
- ・次年度も皆さま方には、様々なところでご協力いただきたいと思っっているので、ご指導ご鞭撻のほどをお願いしたいと、伝えて終えた。

5 生徒・保護者アンケートについて（土川理事より）

※アンケート結果資料の説明。

・来月で、ヒューマンキャンパスのぞみ高等学校が開校2年となる。おかげ様をもちまして、生徒数ならびに教職員数についても千葉県に事前に提出した計画と概ね一致するかたちで順調に成長することができている。これもひとえに千葉の皆さま、地元の皆さまのご協力に伴うものであり、深く御礼申し上げる、との挨拶を最初に申し上げた。

・ひゅーにゃん（広報部長）と校章の説明。

・1年生が43.2%、2年生が44.3%、3年生が11.9%、4年生以上が0.6%となっている。中学3年生を卒業と同時に1年生として入学されることが圧倒的に多いが、全日制高校から高校2年生3年生の途中から転入というかたちで途中でご入学いただく生徒もいる。

開校2年目のため、3年生の比率が少なくなっているが、来年1年後に関しては、1年生、2年生、3年生とも概ねほぼ同じような比率になる予定である。

・全国の目標として90%以上の満足度を掲げていたが、結果が89%とおしくも計画には届かない結果におわった。アンケートを通じて色々な改善点や希望点を回収しているので、次年度はそちらを改善して、90%以上の満足度を実現したい。

・「通信制高校を検討している後輩がいれば、のぞみ高校を紹介したいか」の質問については、紹介したいの合計が81%となっている。こちらは目標として80%を掲げていたので、今年度についてはクリアしている。

次年度の新1年生についても、在校生からの紹介ならびに中学校の先生からの紹介で入学いただいている生徒が多数いるので、引き続き口コミでたくさんの方にご入学いただけるような学校作りを目指していく。

・本校スクーリングのアンケートについては、参加した生徒は、どの回でも最低90%以上、行ってよかったという回答をいただいているが、本校スクーリングについての率直な気持ちについてのアンケート結果は、これから参加するという生徒も含めてのアンケートとなっている。行く前は行きたくないという声をよ

く聞くが、実際に行った後は、ほとんどの生徒が行ってよかったという声を聞く。3泊4日の経験を通じて宿泊した友達と仲良くなり、学校に行くのが楽しくなるという声もたくさんいただいている。普段通信制高校で学習をしているが、千葉に行くということは生徒にとって大きなチャレンジになる。

その経験を通じてかなり大きく成長してくれていることを実感している。

・保護者アンケートも満足度が合計89.9%となっており、ほぼ90%の保護者の方がご満足いただいているが、全国25の学習センターによって満足度がまちまちであることが現状である。

本校の校長をはじめ両教頭が積極的に各学習センターをまわり、運営がきちんとしてきているかどうか指導改善していき、さらなる満足度をあげていく予定である。

・およそ90%の保護者がお子様成長したと実感している。

・学校評価について、この後、学校関係者の皆さま方のご意見、評価をアンケート形式でご協力をお願いしたい。昨年度は初年度ということもあり、まだ評価をしていただけるような状況ではなかった。今年がはじめてのお願いとなる。皆さまからいただいた意見については、学校のホームページに3月下旬に開示させていただく予定である。何卒ご協力のほどよろしくお願いしたい。

・開校初年度に入学した生徒が1年後卒業すると、高校としての一通りのサイクルを迎えることとなる。3年間のひと区切りを無事迎えられるよう、引き続き地域の皆さま方には、ご指導ご鞭撻賜りますようよろしくお願いして終えた。

6 質疑・意見交換

委員からの質問、ご意見（1）

・教え子がこちらにお世話になっている。スクーリングは茂原の生徒は参加していないとあったが、茂原本校のスクーリング以外に他県でのスクーリングはあるのか。

今後、本校スクーリングにきたとき、茂原本校の生徒と一緒に参加するような予定はあるのか。茂原本校の様子もお聞かせいただけると有難い。

学校側からの発言、説明等

・通信制高校の教育課程の仕組みが全日制とは少し違っており、通信制高校というのは必ず学校に行かなければいけないというのが卒業要件に含まれていない。

卒業するために必要な単位をそろえるのに、添削指導を行って、スクーリングを受ける。実際に英語や国語、社会などそういったものは、必ず受けなければならないスクーリングである。

今こちらで説明させていただいたスクーリングは、本校スクーリングと言って、全国にいる高校2年生の生徒たちが一同に会して、必ず一度は茂原本校にきて3泊4日のスクーリングを行うというものだから、通常おこなっているスクーリングと

本校スクーリングでは若干意味合いが違っている。

本校に通っている生徒が、本校スクーリングのプログラムに実際に参加したりというのは、今後考えていきたいと思うので、ご意見ありましたら願いたい。

委員からの質問、ご意見（２）

- ・スクーリングは名護でもやっているのか。日本全国にいる生徒は名護か茂原どちらかのスクーリングに参加するのか。
- ・日本全国に生徒がいると思うが、都道府県別で何か傾向はあるか。都道府県の人口にもよると思うが、多いとか少ないなどの傾向があれば教えていただきたい。

学校側からの発言、説明等

・名護か茂原のどちらかではなく、10年前にできたキャンパス高校とは姉妹校になるが、全く別の高校になり、キャンパス高校に通う生徒とのぞみ高校に通う生徒は別の生徒になる。

のぞみ高校に通う生徒は、みんな茂原にきて2年次に本校スクーリングに参加する。キャンパス高校に属している生徒は、沖縄の名護本校に行く。全く別の高校になるという認識を持っていただければ、わかりやすいかと思う。

・はっきりとした傾向はあらわれてはいないが、24の校舎を構えていて、北は札幌から南は福岡までであるが、やはり、大人数が在籍しているのは首都圏である。1番多いのが大宮東口学習センター、2番目が東京の校舎というかたちとなっているので、全国的に人口の集中している地域にある校舎のほうが人数が集まっている傾向はある。

委員からの質問、ご意見（３）

・私のほうでは、茂原市の幼小中学校の公立学校を管轄している。

茂原市の公立学校の児童生徒も様々な問題を抱えており、不登校の児童生徒もいる。そちらに関しては、各小中学校のほうで、校内学習支援センターや校外学習支援センターいわゆるフレンドルームといって学校へ通えないお子さんがそこに通うということも行っている。

校長先生の説明から、今後のぞみ高校も様々な課題を抱えているお子さんが通えるということで、多種多様な学び方をこういうふうを提供していることによって、子どもたちが生き生きと活動できる場はすごく大切ではないかと感想をもった。

- ・茂原本校の在籍生徒数を教えていただきたい。
 - ・実際にこちらの学校を卒業した後の進路（進学就職先）はどんな方向に行くのか。
 - ・全国一斉のアンケートで進路選択に悩みを抱えている後輩がいて、ヒューマンキャンパスを紹介したいですかという質問に対して、大方が紹介したいであった。
- 若干名、あまり紹介したくないとか絶対紹介したくないがいたかが、色々な考え方を持っているお子さんもいるので、そういう意見がでるのはおかしくないが、それ

がなぜ紹介したくないのか捉えているのであれば、今後の学校運営にも大きく改善策として捉えられるかなと思うので、もし理由がわかっているのであれば、教えていただきたい。

・昨年、地元の新治小学校が閉校した時の校長で勤務していたが、その時にひとつの映像を作ろうということで、実は音田さんをお願いをした。同じような形で非常に素晴らしい映像を撮っていただき、地域で色んなところで活躍されているんだなと思った。

映像のバックミュージックで流れていた校歌も素晴らしく、新しい校歌だなと思った。

学校側からの発言、説明等

・新治小学校の閉校に参加をさせていただき、音田さんの撮影したドローンの映像が素晴らしいのに圧倒された。知り合いの保護者に話をさせていただいて、音田さんを紹介させていただいて、この校舎の撮影も実現した。それこそ地域の方のネットワークのおかげであると思う。

・質問1点目について、茂原本校には、27名の生徒が在籍している。今年、3年生で卒業予定生が2名おり、1名が大学へ進学、1名が専門学校と進路が確定している。全国的にも大学進学や専門学校あるいは就職で色んなかたちで進路は決めているが、なかなか進路が決められない生徒もかなりいるので、そこをこの後どうしていくかというところは学校として学園としての課題として捉えているところがある。

学校側からの発言、説明等

・時間の都合上、今回は結果のみを紹介したが、生徒にはなぜそう思いますかという理由もあわせてヒアリングしている。

紹介したくないという生徒が約13%いる。その13%のうち、正直申し上げるとその学習センターに対して、満足してなくて紹介したくないという方もいる。

それ以外に学習センターには満足しており、高校生活は充実しているが、後輩が全日制にいけるのであれば、通信制高校ではなく、全日制の方にいったほうが良いと思っている生徒もいる。あるいは、後輩に自分がここに通っていることを知られたくないからという理由もある。

・進路については、のぞみ高校については、卒業生がまだ少ないため、姉妹校のヒューマンキャンパス高等学校の例で申し上げる。

3年生（卒業生）の進路の決定率は、ここ数年は90%となっている。内訳は4年生大学に進学が約65%、専門学校や専門学校に準ずる学校がおよそ50%、就職がおおむね25%前後になっている。

ここ数年この比率に変更はないが、今、佐藤学園としては、大学進学コースに力をいれている。高校を卒業してもらうのは、我々の努めであるが、やりたいことを

みつけて出口をみつけて卒業していただくことが究極の目標となる。やりたいことがまだみつからない高校生も多いので、やりたいことを4年制大学にいて見つけられるように、4年制大学に行くのであれば、より選択肢が増えるようにしっかり勉強して大学を目指そうというコースに力をいれている。進学割合も年々増えてきている。のぞみ高校もこういった傾向になると予想している。

委員からの質問、ご意見（4）

・本校の3年生も相談に来させていただいて、進路としては、他のところを選んだが、丁寧に対応していただいたと感じている。

通信制高校については、お話の中でもあったように不登校等や中学時代に学校でもうまくいかなかった子が多かったと思うが、昨年、県立高等学校と意見交換した際に、最近では全日の生徒が集まらない高校は、最初から中学生が卒業時に通信制を選んでいて、中々募集が難しくなっていると聞いた。

かつては、全日制に行っていた子も来ていると思うが、まだ不登校が多いのではないかと思う。在籍している子で中学校まで不登校であった生徒がどのくらいいるのか、そういう生徒が高校生活を進めていくにあたって、通信制高校がどのようにされているのかもしお聞きできれば、我々が通常の学校運営にも生かせると思う。

学校側からの発言、説明等

当該の生徒が不登校であったということで、うちの学校に入学している生徒が何人、何%などの統計はとっていないのが実情であるが、昨年度と今年度の入試をみると、本校にきている生徒の相談は学校になかなかいけなくて、ここであれば何とか高校が卒業できるかなという相談からスタートしている。

学校側からの発言、説明等

・ここに在籍している生徒は多様な理由から中学校のときに学校に足が向かなかったという生徒がほとんどである。傾向としてはコロナ渦を経て通信制高校を選ぶ層はだいぶ変わってきていると実感している。

成績もよく学校に毎日くる子なのに、どうして通信制高校を選ぶのだろうと中学校の先生方からお話を伺うが、自分のペースで学習が進められることがポイントになっていると思う。

茂原本校については、積極的に外部に対して発信していないこともあり、自主的にホームページをみて、あるいは学校の先生や先輩から話を聞いて、という生徒がここに相談にきている。茂原市にこういう学校があるということ発信ができるようになれば、生徒の層も変わってくるのかなと思う。自ら通信制高校を選ぶという生徒も増えているので、その期待に応えられるように精進してまいりたい。

学校側からの発言、説明等

・募集活動をしないと、去年私がお話させていただいた時に「えっ」という声をきいた。

ここを開校するにあたって千葉県では、募集活動はしないとの条件があった。その募集活動をどういうふうにするかであるが、1年目はのぞみ高校という言葉が少しでも県内ででると、募集活動をしているのではないかとすぐに千葉県に投書がいったという例も何回かあった。

募集活動の在り方については、未だ敏感に考えているが、今、委員からあったように、私共は公教育を担っているので、自分の学校がどんな学校かということや地域や地域の中学校が知らないというのは説明責任をはたしていないのではないかと考えている。

来年度、中学校の先生や保護者、教育委員会の方を対象に学校説明会をやってもいいかなと思っているが、私も非常に迷っているところである。

中学校の先生方にも来ていただいて正確に判断していただきたいと思っている。私共も高校教育だから、特別支援学校に進む生徒をのぞみの茂原本校でいったん引き受けても3年間もたないことになってしまうことは避けたい。きちんと知っていただきたいなと考えているが、いかがか。

委員からの質問、ご意見（5）

・なぜ募集活動をしてはいけないのか。

学校側からの発言、説明等

・県内にたくさんの私立高校があり各校募集定員をもっているが、中学校の生徒数が激変しているため、その定員に満たないぐらい生徒が減ってきている。

併せて千葉県の場合は公立高校も多数あるので、私立高校を選ぶのか公立高校を選ぶのか、色々な進路選択がある。その中で、私立高校は生徒がいないと経営がなりたたない。

のぞみは全日制の高校の生徒とは違うんですと説明させていただいて理解を得ているが当該校にすれば3人でも5人でも生徒をとられることは経営上の危機がある。それぐらい私立高校の経営状況は厳しい状況にあるということである。

通信制高校は全国で2万～3万人ぐらいずつ増えており、全日制は減ってきており、非常に脅威になっていることは確かである。来年度も全国では3万人ぐらい増えるのではないか。

委員からの質問、ご意見（6）

・競争の原理はないのか。よりよい学校を選ぶという意味で私立の学校の既得権益を守ることは、いい環境が作られないのではないか。自由競争でよいのではないのか。既得権益を守ろうとする勢力があるのか。

学校側からの発言、説明等

・そういうところはあるかもしれないが、千葉県では、公立高校、私立高校、県議会議員や国会議員のいろんな人の考えを聞きながら、極端に生徒が減っている間について新高校はつくりたくないという方針を立てている。

私たちが必要とする子どもがいるのであればということでも認めていただいた。積極的な募集活動をやらなくても現に相談にくる生徒については対応する。

もちろん全国では、募集活動を積極的にやらせていただいている。

委員からの質問、ご意見（7）

・子どもたちにとって一番いい環境、いい選択肢がある状況をつくるのが私たちのつとめではないか。

学校側からの発言、説明等

・ここに学校があったとして、この学校がどういう学校なのかまったくわからない状態。我々は積極的に生徒を集めて募集する活動はしていないが、この学校がこういう学校であるという説明する機会というのはどうだろうと考えている。みなさんのご意見があればお願いしたい。

中学校の先生であったり、教育委員会の方で、この学校はどういった学校でどのようなシステムで進級したりしているのだろうというような説明の機会を設けるということについて、ご意見があれば頂戴したい。

委員からの質問、ご意見（8）

・やるべきではないかと思う。

委員からの質問、ご意見（9）

・学びの多様化といわれている中で、子どもたちがこういう環境だからこそ、こう学べるということについて知っておくのは中学校としては必要だと思う。

茂原市でもフリースクールが増えてきており、そこにいてる生徒がいるが、フリースクールにいてる子どもたちは、これまでの規定のものだけでは、なかなかカバーできない子たちが増えてきている。

そういう子たちや関わる人たちが知るといのは、そこがあることで救われる子がいる可能性が高いので、例えば市の中学校長会などの機会でも子どもたちの進路でこういうところもあるよ、みたいな話もできるのではないかと。

委員からの質問、ご意見（10）

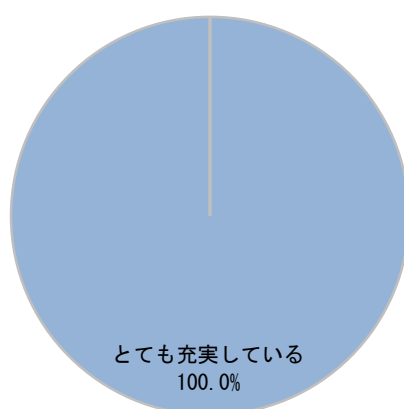
・今の話もそうだが、高校の生徒や親御さんがすごく悩んでらっしゃると思う。こういう学校があるということを知らないがために進路選択で困っている保護者の方がいらっしゃるのではないかと。募集活動は行えないが、けれども情報提

	<p>供はしていくべきなのかなと思う。</p> <p>こういう学校がありますよ、どうぞ来てくださいではなく、こういう学校がありますよということを保護者や学校の教員が知っていれば、教員側からこういう学校があうのではないかなど、情報の提供としてはできるので、あくまでも情報提供は募集活動とはちがうと思うので、そこは困っている保護者の方々や子どもたちには伝えるべきかなと思う。</p> <p>委員からの質問、ご意見（11）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつも撮影の関係でお世話になっている。茂原市として、出前講座があったりするので、色々なカリキュラムがあるので、もしかするとスクーリングでできそうなものがあれば、協力できるかなと思っている。 <p>やはり、魅力的なのは、全国から子どもたちが集まってくるので、スクーリング4日間としても、第二の故郷になりえるのかなと思う。</p> <p>海ほたると言ったが、地元にもいいお土産があるので、お声かけいただければと思います。よろしく願いいたします。</p> <p>学校側からの発言、説明等</p> <p>その他ご意見ありましたら、遠慮なくこちらまでご連絡いただきたい。 建設的なご意見をいただきありがとうございました。 今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。</p>
議事録作成者	兼浜 響姫

学校関係者アンケート結果

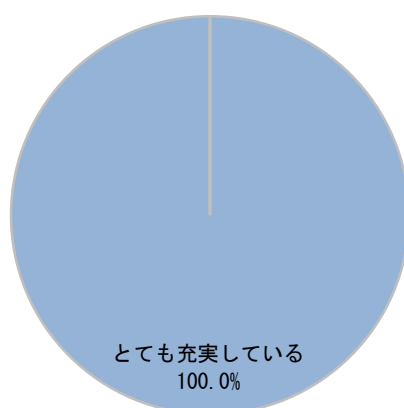
[Q2] 当校の教育活動についてどう思われますか？

(n=7)

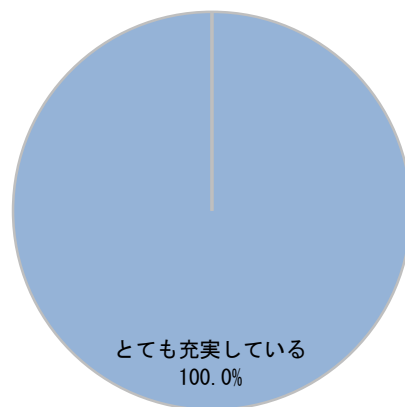


[Q3] 当校の教育成果についてどう思われますか？

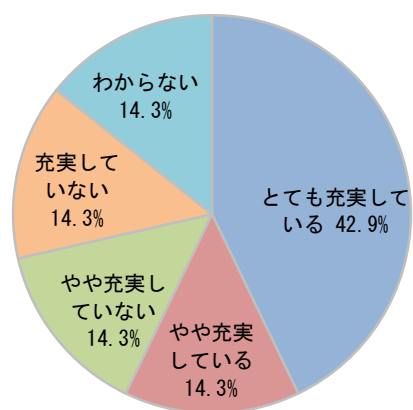
(n=7)



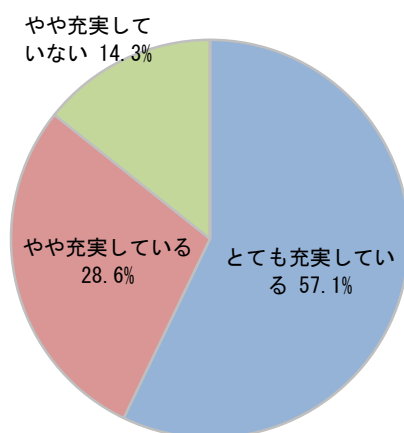
[Q4] 当校の教育環境についてどう思われますか？
(n=7)



[Q5] 当校の生徒募集についてどう思われますか？
(n=7)



[Q6] 当校の地域貢献についてどう思われますか？
(n=7)



(自由回答設問) 当校についてのご意見、ご提案、ご要望などございましたら自由にご記入ください。

- ・リソルの森での滞在時間が長いので、美味しい食事やリラックスできる宿泊施設でなければ満足度も下がってしまう…当社の責任は重いと痛感しております。より良いサービスを心がけてまいります。
- ・現代社会があらゆる分野及び環境で選択肢が増え個性的な人材が求められる中、個人の特性と可能性を伸ばすことに重点を置いたのぞみ高等学校の教育方針は地域の教育振興に於いて重要な役割を担っていると思われまます。今後さらなる発展を心よりお祈り申し上げます。
- ・様々な子どもがいる中で、本校のような多種多様な学びのできる高校は大切であると考えます。
- ・動画配信、HP など積極的な取り組みが見られることや、茂原市に新しい学校ができることは地域の活性化にもつながると思います。見学会や教員対象の説明会をお願いしたいと思います。
- ・募集が出来ないのなら、学校の存在をもっと PR しても良いと思いました。その結果、地域に広まることで、地域貢献につながっていくと思います。学びの多様化、参集の自由化、学校の風土も良く、ますますご発展を願います。
- ・個に応じた通信による学びができているように思いました。募集活動がむずかしいとのことですが、茂原に在籍している生徒にもよりよい学びの場が提供できることを願っております。本日は勉強になりました。ありがとうございました。